

第5次富士宮市総合計画
後期基本計画策定に向けた
地区別懇談会 実施報告書

令和3年4月
富士宮市

目 次

1 地区別懇談会の概要

(1) 実施目的	1
(2) 実施方法	1
(3) 実施内容	1
(4) 実施結果	2

2 地区別の意見結果

【大宮西・富丘・大富士支部】	3
【上野・北山・上井出・白糸支部】	10
【富士根南・富士根北支部】	15
【芝川支部】	21
【大宮中・大宮東支部】	18

3 資料編

資料1 第5次富士宮市総合計画の概要	29
資料2 市民アンケート調査結果	35
資料3 全国における社会動向	38

1 地区別懇談会の概要

(1) 実施目的

第5次富士宮市総合計画後期基本計画の策定に際し、基本構想に基づく本市のまちづくりに対する方針を示すとともに、新型コロナウイルス感染症がもたらす現状と課題について、地域のまちづくりに対する新たな考えなどを把握するために、地区別懇談会を開催する。

(2) 実施方法

市内126区を対象に、エリアごと5地区に分けて地域のまちづくりについての意見交換会を行う。

(3) 実施内容

【次第】

- 1 開会
- 2 企画戦略課長あいさつ
- 3 出席者紹介
- 4 第5次富士宮市総合計画の概要
- 5 本市を取り巻く社会経済環境の変化
- 6 意見交換:グループディスカッション
 - 後期基本計画策定にあたっての現状、課題、新たな視点について説明
 - 本市の目指す将来像について、各区の課題や今後の展望を踏まえて意見交換
 - 発表、まとめ

(ファシリテーター:事務局)

(4) 実施結果

地域ごとの実施日時、会場、参加地区は、以下のとおり。

実施月日	時 間	会 場	地区（人数）	参加人数
令和3年 2月19日（金）	午後7時～ 9時	富士宮市民文化会館	大宮西支部（13） 富丘支部（6） 大富士支部（7）	26人
令和3年 2月24日（水）	午後7時～ 9時	上野会館	上野支部（7） 北山支部（7） 上井出支部（7） 白糸支部（4）	25人
令和3年 3月2日（火）	午後7時～ 9時	富士根南公民館	富士根南（15） 富士根北支部（8）	23人
令和3年 3月9日（火）	午後7時～ 9時	芝川公民館	芝川支部（15）	15人
令和3年 3月11日（木）	午後7時～ 9時	駅前交流センター きらら	大宮東支部（13） 大宮中支部（12）	25人

2 地区別の意見結果

【大宮西・富丘・大富士支部】

現状及び課題

【基本目標1 富士山の自然と調和した循環力があるまちづくり（環境）】

（資源循環）

- ・ごみの分別が徹底されていない。

（生活環境）

- ・側溝に空き缶、石ころが捨てられている。
- ・川や山、道路などにごみが多い。

【基本目標2 富士山の麓から創造力と活力がみなぎるまちづくり（産業）】

（農林水産業）

- ・農地の耕作放棄地が増加している。

（商業）

- ・店主の高齢化により、飲食店が少なくなっている。

（観光）

- ・富士山を活かした観光施設とそのPRが不足している。
- ・神田川にニジマスが減ってきている。
- ・市の祭りにイオンの駐車場の存在が大きい。

（労働・雇用）

- ・子どもたちの就職先の選択肢が少ない。
- ・テレワークによる働き方が十分に浸透していない。

【基本目標3 みんなの幸せと潤いを創出するまちづくり（健康福祉）】

（医療）

- ・市立病院をはじめ、市内病院の機能が不足している（例えば、心臓病の専門病院がない）。
- ・医療機関がまちなかに集中している。

（地域福祉）

- ・高齢者の活動できる場所が少ない。

（高齢者福祉）

- ・高齢者世帯、独居老人が増加している。
- ・お年寄りがゆったりと休んでいる姿が少ない。
- ・コロナの影響で、寄合処が活動できない。

【基本目標4 郷土に学び郷土を愛する心豊かな人を育むまちづくり（教育文化）】

（文化・芸術）

- ・市民文化会館の駐車場が狭い。

【基本目標5 富士山の魅力を発揮した快適なまちづくり（都市整備）】

（市街地整備）

- ・中心市街地の交通渋滞が観光客の迷惑となっている。

（生活道路）

- ・道路側溝にフタがない所が多く危険である。
- ・狭い生活道路が多く、消防車や救急車が入れなくて不安。
- ・ブロック塀から生垣へ推進しているが、道路に樹木がはみ出して危険な場所がある。

（治山・治水）

- ・二番堀、三番堀の流れが悪い。

（公園・緑地・水辺）

- ・公園の数が少ない地域があるため、できれば区ごとに公園を設置してほしい。
- ・景観を活かした自然公園が不足している。

【基本目標6 豊かなコミュニティを持つ安全・安心なまちづくり（市民生活）】

（防災）

- ・コロナの影響により、災害時（地震など）の訓練が少なくなり不安。
- ・避難所の対応能力が貧弱。毛布、灯り、非常食など、もっと充実すべき。
- ・災害時に、自主防災会は本当に機能するのか疑問。

（消防）

- ・近くに河川がなく、災害時に水の確保が難しい。
- ・消防団員が不足している（10人の定員のところ5人となっている）。

（防犯）

- ・登山道沿いの夜間照明が暗い。

（交通安全）

- ・地区の交通安全委員を受けてくれる人がいない。
- ・住宅地の道路で、制限速度30Kmを守らない車が多い。

（公共交通）

- ・快速とか、観光客のために、身延線のアクセスをもっと良くしてほしい。
- ・バスの便数が少ない。小型でもいいから増やしてほしい。
- ・高齢者の移動が容易な公共交通を充実してほしい。
- ・中心地（商店街）までのバス路線（交通機関）が少ない。

（住宅・住環境）

- ・空き家・空き地が増えてきており、高齢者の増加により将来は空き家がさらに増える。

（コミュニティ活動）

- ・区長等の自治会役員のなり手がいない。
- ・人口が減り、区民の減少が気になるとともに、区役員を後期高齢者や女性がやらなければならなくなっている。
- ・行政からの役が多すぎる（民生委員、保健委員等）。
- ・区の規約と区の実態とのずれの把握。
- ・自治会の役員や各種委嘱委員をボランティアに求めるのは難しくなっている。

- ・高齢者の区への参加が地域を変えようと思う。
- ・若い人（50～40代）は仕事が忙しい事もあり、行事等に参加しづらい。
- ・自治会の加入率が低くなっている。加入を増やす対策が必要。
- ・区民の高齢化により、自治会活動（進め方）が困難になってきている。
- ・地区に集会所がないため、いろんな面で落ち着かない。
- ・人と人との結びつきが弱くなっている。
- ・若い世代の地域活動参加が少ない（自治会活動は、高齢者が支えている）。
- ・近年は、地域のことより、個人や家の事を中心に考える傾向にある。
- ・コロナ禍において、多数の人が集まる事（代議委員会や早朝ラジオ体操など）に対しての市からの指示（基準の提示）がほしい。
- ・敬老会、防犯カメラ設置、防災などを強化すべきとの意見があっても、区にお金がなくてできない。

（国際交流）

- ・国際文化を感じられない。
- ・国際文化都市という雰囲気がまち全体にない。

【基本目標 7 市民と一緒に取り組むまちづくり（市民参加・行財政）】

（行政運営）

- ・意見を伝えても結果が見えていないので諦めている人が多い。
- ・個人情報、プライバシーを過度に恐れるな。

今後の方向性（市政において、特に力を入れてほしいことなど）

【基本目標 1 富士山の自然と調和した循環力があるまちづくり（環境）】

（生活環境）

- ・清水川、よしま池を魚の住める川、池にするべき。
- ・ごみ集積場所について、市の統一した構造物等を考えてほしい。
- ・通学路の草刈りを年4回～5回行っているが、年寄りになっているので若年層にもお願いしたい。
- ・ごみの集積場所は、道路外に作ってほしい。
- ・道路のごみに対し、富士市のようにごみ捨て条例違反看板を作成してほしい。

（自然環境）

- ・物見山公園の下の辺りを、里山として整備してほしい。

（水利用）

- ・富士宮の水を守る（水源）。

（上下水道）

- ・下水処理の実施、接続する人が少ないので、早く多くの世帯が接続するようにPRする。

【基本目標 2 富士山の麓から創造力と活力がみなぎるまちづくり（産業）】

（食）

- ・ニジマス(市の魚)の「鵜」の被害への対策をとってほしい。
- ・地産地消、富士宮名産、土産店をもっと増やす必要がある。

(農林水産業)

- ・休耕地の利用など、市がもっと関与してほしい。
- ・市民農園の整備(登録)と利用のシステム化を進めてほしい。
- ・今後の農業のあり方を農家に任せるのではなく、市が新たな考えを導いてほしい。
- ・農業地域への応援、農地付空き家の事例紹介をしてほしい。

(商業)

- ・市で、中小商店のイベントを斡旋する(バル等)。
- ・商店街の再建。
- ・市の中心商店街を回遊できる様な駐車場整備。

(観光)

- ・富士山を活かした観光施設、温泉などの設置。
- ・富士宮の土産販売商店街があればよい。
- ・観光施設の宣伝(ふもとっばら等、キャンプ)をもっと積極的に進める。
- ・白糸の滝周辺、駐車料金の統一化、公共駐車場の整備。
- ・湧玉池のマスが少なくなっている。せつかくの観光資源の為、何とかしてほしい。
- ・ウォーキングコース(史跡コース、レンタサイクルコース、湧水めぐりコース)の設定。

【基本目標3 みんなの幸せと潤いを創出するまちづくり(健康福祉)】

(子育て)

- ・子供会の活動の活発化(ソフトボール、ポートボール等で上級生、下級生の関係が育まれる)。

(健康づくり)

- ・市長の同報無線放送の時、コロナで何人入院して何人退院しているのか知りたい。
- ・早くコロナの予防接種を打てるようにしてほしい。
- ・健康で動ける健康寿命を伸ばす政策(具体化)をする必要がある。

(医療)

- ・県や国へ働きかけて、病院の誘致(ハートセンター)や富士市と協力して専門病院を整備する。

(地域福祉)

- ・独居世帯に対する対応、包括や社協、民生委員及び区との連携を深める必要がある。

(高齢者福祉)

- ・公共の老人ホームを増やしてほしい(私立は入居料が高い)。

【基本目標4 郷土に学び郷土を愛する心豊かな人を育むまちづくり(教育文化)】

(文化・芸術)

- ・歩く博物館の動画配信をしてはどうか。
- ・文化事業の推進や伝統文化の継承者、市民の中での若い人の発掘を進めてほしい。

【基本目標5 富士山の魅力を発揮した快適なまちづくり（都市整備）】

（幹線道路・交通網）

- ・新しいバイパスの建設。

（生活道路）

- ・交通標識、電話ケーブル、電線、外灯等の邪魔になる樹木の剪定が必要。
- ・道路の整備は、早めにしてほしい。
- ・市道の巡回をこまめに行ってほしい。
- ・側溝や水路の暗渠閉化で道を広くしてほしい。
- ・小学生の通学路(歩道)の整備、拡幅。
- ・道路管理の異常監視と報告の権限を明確化、オープン化(区長研修資料)してほしい。
- ・交差点右折レーン追加による渋滞緩和を進めてほしい。

（景観）

- ・無電柱化を進めてほしい。

（治山・治水）

- ・二番堀・三番堀の水量を増やし、蓋をして道幅を広げる。
- ・リバーフレンド協定(県、市、区)、草刈り等河川美化を推進してほしい。

（公園・緑地・水辺）

- ・河川をきれいにするビジョン（中期計画）を作ってはどうか。
- ・白糸自然公園の周知を。
- ・公園設置のための遊休地の借上げを行い、公園面積拡大の長期計画立てる。
- ・公園の整備に区民の参加を求めているどうか。
- ・渋沢用水、新堀用水、遊歩道の整備と親水活動の推進。
- ・公園施設の見直し、遊具等の充実（取り外した遊具の再整備）。

【基本目標6 豊かなコミュニティを持つ安全・安心なまちづくり（市民生活）】

（防災）

- ・災害時の行動マニュアルの整備を行い、訓練を実施してほしい。
- ・避難場所の備品整備計画を作ってはどうか(区も負担する)。
- ・災害時、要支援者名簿を活用すべき(区長、民生・児童委員のみの情報となっている)。

（消防）

- ・企業に、消防団(分団)への理解とバックアップ（支援）をお願いしてはどうか。
- ・消防団員の待遇を改善と広報活動（市によるPR）の実施。

（防犯）

- ・防犯カメラの設置補助金の額を増やしてほしい。

（交通安全）

- ・横断歩道や信号のない場所への設置。
- ・車のマナーを呼びかける。

（公共交通）

- ・バスに区から補助金を出してはどうか。
- ・バスの便を増やす。バスを小型化、EV化し、時間帯やコースを工夫する。

- ・市が保有する車による送迎サービスを行う(利用費を市が一部補助)。
- ・本市への車以外でのアクセスを考えてほしい。
- ・交通機関バス等の利用促進。

(住宅・住環境)

- ・空き家情報やリフォームをPRして若い人を呼び込む。
- ・空き家に対する相談窓口を明確にする。
- ・特定空き家の行政代執行を進めてほしい。

(コミュニティ活動)

- ・若者が自治会活動に参加しやすい仕組みが必要。
- ・区長の仕事が多すぎる、少なくしてほしい。
- ・市において町内会加入を進める。
- ・自治体活動における文章のサンプルがほしい。
- ・市が募集したボランティアに自治会活動を任せる(事務作業など)。
- ・市民の郷土愛がより深まるイベント(市主催、区主催)を実施してはどうか。
- ・市より依頼される役員(民生委員、保健委員、更生保護女性会等)は、区の事情等も考慮して、柔軟に対応してほしい。
- ・コロナ禍の中で自治会活動のあり方については、十分な対策を取って進めるべき。
- ・地域役員、高齢者が多いので、若い人にも勧めるべき。
- ・区外者に対する行政指導が必要。
- ・自治会に対する育成対策と自治会活動に対する社会的評価の向上を企業に求めるべき。
- ・自治会支援条例の制定。
- ・老若男女に楽しい自治会の企画を考えるべき。
- ・区費の貯蓄を検討し、災害対策費を積立てるべき。
- ・回覧板の資料を減らす工夫をお願いしたい。
- ・地縁団体に対する市の説明がほしい。

【基本目標7 市民と一緒に取り組むまちづくり(市民参加・行財政)】

(地方創生)

- ・区民の人口構成に合わせ、若い人も老人も活躍できる体制づくりが必要。
- ・移住者への支援、推進地区の活動への支援。
- ・子育て世代への応援、少子化対策の推進(子どもが生まれたら100万円など)。
- ・IT企業の誘致またはプログラマーの移住推進。

(行政運営)

- ・住民票や届出の更なる出張所(支部)への移行などをもっと進めてほしい。
- ・区や町内会からの要望について、当該課で受付時に今後の進展について回答できるように市の中で制度化してほしい。
- ・早く脱ハンコ、ペーパーレスを進めてほしい。

(財政運営)

- ・家族の近所化、二世帯の税制優遇。
- ・新規の箱物建設をやめる。

(広聴広報)

- ・各地区のホームページ支援(区の良いところ)。
- ・若い世帯又は若者向けに画像通信サイトを多く企画提供が有効と考える。

(高度情報化)

- デジタル化の推進。
- 市内各地に Free Wi-Fi の設置を（外からの観光客を呼ぶためにも）。
- ITC の検討、各集会場に導入を進めてほしい。



【上野・北山・上井出・白糸支部】

現状及び課題

【基本目標 1 富士山の自然と調和した循環力があるまちづくり（環境）】

（生活環境）

- ・河川にごみが多い、油、牛乳等が流れてくる。
- ・道路脇にポイ捨てが多い。

（自然環境）

- ・山林の管理が行き届いていないが、区には山林等を保全する資金がない。
- ・芝川の自然が有効利用、周知されていない。
- ・土地の魅力(宝物)が分からない。引き継がれていない。

【基本目標 2 富士山の麓から創造力と活力がみなぎるまちづくり（産業）】

（農林水産業）

- ・田を作る人が高齢化し、農地の放棄地が多くなり荒れている。
- ・新規の集農地の開拓が必要ではないか。
- ・鳥獣被害に困っている（ハクビシン、カラス）。

（商業）

- ・近くに店がなくて、買い出しに困っている。
- ・中心市街地がさびれてきたが、逆に国道 139 号沿いが発展した。

（観光）

- ・観光に特化したホテル等の宿泊施設がない。

【基本目標 3 みんなの幸せと潤いを創出するまちづくり（健康福祉）】

（医療）

- ・循環器の外科がないなど、医療体制が不安である。

（高齢者福祉）

- ・年寄りの一人世帯や高齢夫婦のみの世帯が増加している。
- ・社会福祉協議会、健康増進課、包括支援センター等の役割が分かりにくい。

【基本目標 4 郷土に学び郷土を愛する心豊かな人を育むまちづくり（教育文化）】

（教育・文化）

- ・無形文化財、火伏念仏の価値が知られていない。

（スポーツ）

- ・スポーツイベントを充実してほしい。

【基本目標 5 富士山の魅力を発揮した快適なまちづくり（都市整備）】

(市街地整備)

- ・自然景観を第一にすると開発ができない。

(幹線道路・交通網)

- ・当地区ではキャンプ場があるが、週末には現状の市道では渋滞等の対応ができない。
- ・工業団地周辺の国道 139 号、国道 469 号、登山道の交通量が多い。

(生活道路)

- ・行き止まり的な工事が多い。
- ・裏道の通行量も増加している。通行量の増加による道路の裂傷が多い。

(公園・緑地・水辺)

- ・上野地区には子どもを遊ばせる公園が少ない。公園の配備が必要では。

【基本目標 6 豊かなコミュニティを持つ安全・安心なまちづくり（市民生活）】

(交通安全)

- ・工業団地に向かう通勤車両の増加で、子どもたちの通学が危険。

(公共交通)

- ・高齢者や車に乗らない人には、特に市街地への交通の不便を感じる。
- ・公共交通機関の撤退で、買物など日常生活を送ることへの不安がある。

(住宅・住環境)

- ・空き家や空き地が増えているため、市内及び上野地域の空き家対策が必要。

(コミュニティ活動)

- ・高齢化や会社員は大変なことが多いので、区の役員のなり手がいない。
- ・区（白糸全区）が小規模の割に役が多い。
- ・地域での集まりが減って、近隣のつきあいが希薄になってきた（新年会、運動会など）。
- ・価値観の変貌など、若い人が自治会に入ってくれない。

【その他】

(土地利用)

- ・市街化調整区域の見直しをしてほしい。

今後の方向性（市政において、特に力を入れてほしいことなど）

【基本目標 1 富士山の自然と調和した循環力があるまちづくり（環境）】

(生活環境)

- ・他市から残土を持ち込ませない。残土等の不法投棄の防止を図ってほしい。
- ・不法投棄対策として、監視カメラを利用してはどうか。
- ・不法投棄の法律改正や条例により、厳罰化してほしい。

(水利用)

- ・湧水地の保全をしてほしい。

【基本目標2 富士山の麓から創造力と活力がみなぎるまちづくり（産業）】

（食）

- ・食のイベントを多くしてほしい（やきそば・ラーメン・スイーツ）。

（農林水産業）

- ・田んぼ、山林が荒れているので、農地の整備、ほ場整備を続けてほしい。
- ・耕作放棄地に対する対策として、見回りを強化してほしい。
- ・新規就農者に農地を貸出してはどうか。
- ・農業以外の方法による農地を有効活用する方策を考えてはどうか。
- ・山林を整備してほしい。
- ・農業法人を充実（誘致）してはどうか。
- ・保証制度を拡充させてはどうか。
- ・中間農村地でのイベントの推進。

（商業）

- ・グリーンパーク跡地等に大型商用施設を誘致する（コストコなど）。

（観光）

- ・各地の素晴らしさをアピールして、働き盛りの人を集める。
- ・山歩きコース(富士山、部落を望む)(天子ヶ岳から南へ)、芝川の川歩きコース(柱状節理のPR)の整備、滝巡りコース(ウォーキング、サイクリング)を整備してほしい。
- ・観光客が富士宮市に寄ってもらうための対策、目玉が必要。
- ・観光・みやげものにジビエを活用してはどうか。
- ・歴史資産のある北部の活性化をしてほしい。
- ・観光客を市内にとどまらせる施設をつくる必要がある。

【基本目標3 みんなの幸せと潤いを創出するまちづくり（健康福祉）】

（子育て）

- ・子育て環境の充実が必要。
- ・子ども医療費を無料化してはどうか。

（医療）

- ・旧国立療養所跡地に研究センターを誘致してほしい。
- ・市内各所にAEDを設置してはどうか（区に3台くらい）。

（地域福祉）

- ・高齢者の買い物をボランティアで車に乗せる仕組みを構築してはどうか。

（高齢者福祉）

- ・高齢化社会を支える優しい人材の育成が大切。
- ・高齢者・障がい者が生活するための交通手段を充実させることで、病院・買い物などの不便さを解消させる必要がある。

【基本目標4 郷土に学び郷土を愛する心豊かな人を育むまちづくり（教育文化）】

（文化・芸術）

- ・民族文化財の補助を充実させて、区の行事を存続させる。

【基本目標 5 富士山の魅力を発揮した快適なまちづくり（都市整備）】

（市街地整備）

- ・自然景観を第一にすると開発ができない。
- ・市街地ばかりでなく、北部の有効利用を進めてほしい。

（幹線道路・交通網）

- ・国道 469 号の早期拡幅開通、歩道の早期整備を進めてほしい。
- ・自動車が大型化しているので、道路計画を見直して整備してほしい。
- ・今後運転できなくなった時のために、公共交通機関の充実が必要。

（生活道路）

- ・登山道三番堀北側道路を舗装してほしい。

（景観）

- ・富士山の見えるところの整備。朝霧高原では道路に駐車している人もいる。小さくても良いので、駐車場の整備をしてほしい。
- ・無電柱化を進めてほしい。
- ・国道 139 号の東側の木を切って、富士山を見えるようにしてほしい。

（公園・緑地・水辺）

- ・運動場や公園等施設を拡充してほしい。
- ・上井出峰山公園の駐車場を展望できるように樹木を剪定してほしい。

【基本目標 6 豊かなコミュニティを持つ安全・安心なまちづくり（市民生活）】

（消防）

- ・消防団員の待遇を向上してほしい。
- ・女性隊員を増やしてほしい。

（住宅・住環境）

- ・空き地の有効利用、空き家の管理をしてほしい。
- ・旧国立病院の跡地を活用してほしい。

（コミュニティ活動）

- ・近場に里山を整備し、区民の憩いの場をつくってほしい。
- ・若者も含め、みんなが集まり、話をしたりする場所をつくってはどうか。
- ・若年層の地域行事への参加を推進するべき。
- ・地域の人間関係の再構築（話し合い、飲み会）が必要。
- ・「白糸区」を設定（区長 1 名、1200 名位の区はある）。現区は町内会にしてはどうか。
- ・50～60 代の人達が区の役員を引き受けてくれるような区組織の改造（仕事をしながらでも引き受けられる）が必要。

【基本目標 7 市民と一緒に取り組むまちづくり（市民参加・行財政）】

（地方創生）

- ・都会からの移住者に更なる支援・補助を。（誘致対策の充実）
- ・独身の若者の出会いができるイベントを。
- ・晩婚化で結婚していない男女が多い、集まる場所を計画してほしい。

- ・結婚できる環境づくりを進める必要がある。

(行政運営)

- ・押印なしに伴う提出書類を簡素化してほしい。
- ・富士宮市の行政の改革を望む。
- ・ハード整備よりもソフト事業の充実を。

【その他】

(土地利用)

- ・市街化調整区域の見直しをしてほしい。
- ・許認可の整備を。
- ・北部地域の規制緩和を最小限にして、開発して行ってほしい。

(その他)

- ・人を育てる環境が大事。



【富士根南・富士根北支部】

現状及び課題

【基本目標1 富士山の自然と調和した循環力があるまちづくり（環境）】

（地球環境）

- ・太陽光発電でソーラーパネルが増え、自然環境や景観が悪くなっている。

（生活環境）

- ・管理されていない土地への不法投棄が多い。
- ・道路脇のごみの投棄、空き缶、ペットボトルが多い。
- ・富士山麓への土砂投棄問題が起こっている。
- ・空き地の雑草が困る（クレームが多々自治会に入る）。

（水利用）

- ・川の水の汚染が進んでいる。

（上下水道）

- ・杉田地区の下水道の未来が見えない。

【基本目標2 富士山の麓から創造力と活力がみなぎるまちづくり（産業）】

（食）

- ・やきそば、有名になったことで一部の店の対応が悪い。

（農林水産業）

- ・農地（茶畑）の管理がされず、放棄地が多い。

（工業）

- ・製造業以外の企業誘致が必要ではないか。

（商業）

- ・市の元気はまちなかの商店が元気であること。そのためのまちづくりが必要ではないか。

（労働・雇用）

- ・高齢化のため、テレワークをしたくてもできない。

【基本目標3 みんなの幸せと潤いを創出するまちづくり（健康福祉）】

（地域福祉）

- ・寄合処で男性の出席率が悪い、何とかしたい。

（高齢者福祉）

- ・高齢者の交通手段の確保が必要ではないか。
- ・高齢化が進み、独居が増加してきた。

【基本目標4 郷土に学び郷土を愛する心豊かな人を育むまちづくり（教育文化）】

(義務教育)

- ・読解力のない子どもたちが増えている、何とかできないか。
- ・区か学区の見直しをしてほしい。生徒の数の差が大きすぎる。
- ・小学1年～中学3年まで1人1台パソコンの導入で教育の方法が変わり過ぎる。

(文化・芸術)

- ・国際文化都市を目指すならもっと文化会館を立派なものにしてほしい。

【基本目標5 富士山の魅力を発揮した快適なまちづくり（都市整備）】

(幹線道路・交通網)

- ・県道158号の交通渋滞が問題。
- ・富士見小の南側を東西に走る道路が途中で止まっている。
- ・観光地の交通渋滞対策が見られない。
- ・道路の問題について、市・県・自治会の人々が調査し、現状確認をしてもらいたい。

(生活道路)

- ・曲がった道路が多いため、横断が危険。
- ・道路の側溝の蓋がなく、通学時に危険箇所が多い。
- ・側溝が崩れている河川がある。
- ・道路の混雑が朝夕はひどい。
- ・樹木が道路上に垂れて道が狭くなっている。

【基本目標6 豊かなコミュニティを持つ安全・安心なまちづくり（市民生活）】

(防犯)

- ・高齢化が進む中で、誰が有事の時守ることができるか不安。
- ・空き家が増えて、犯罪の危険性が高まっている。

(交通安全)

- ・工業団地に向かう通勤車両の増加で子どもたちの通学が危険。

(公共交通)

- ・宮バスの本数が少なくて不便。

(住宅・住環境)

- ・空き家や空き地が増えている。
- ・栗倉団地、高齢化によって緑地整備の際に危険性がある。

(コミュニティ活動)

- ・世帯数が減少している。
- ・区役員が高齢化している。
- ・区の役員の成り手がいない（若い人は働いているため、区の役員が出ない）。
- ・区の役員の女性の選出が難しい。
- ・行政からの役員への要望が多すぎる。
- ・大岩3区区民館が地震で傾いているが、修復の見通しが立たない。
- ・コロナのため行事が中止となるなど、区民同士の繋がりが薄くなっている。
- ・若い転入者の考え方の相違が見られる。
- ・自治会加入のメリットがなくなってきたため、アパートの住人など、自治会未加入者が出てきた。
- ・コロナにより、町内の総会ができない。

(国際交流)

- ・国際文化都市としての手法が見いだせていない。

【基本目標 7 市民と一緒に取り組むまちづくり (市民参加・行財政)】

(行政運営)

- ・若者の選挙離れに驚いた。若者が積極的に投票に行く方法はないか。

【その他】

(土地利用)

- ・まちなかとの格差が大きい。

今後の方向性 (市政において、特に力を入れてほしいことなど)

【基本目標 1 富士山の自然と調和した循環力があるまちづくり (環境)】

(地球環境)

- ・市の電力と非常時に備え、水力による電力を確保してはどうか。

(生活環境)

- ・ごみ1つない市に(罰金等の検討)。

(水利用)

- ・ホテルが多く住めるような川を維持したい。

【基本目標 2 富士山の麓から創造力と活力がみなぎるまちづくり (産業)】

(食)

- ・イベント会場を設置し、定期的にイベントを開催してほしい。
- ・第6次産業を生かす環境づくりを、見える化させる必要がある。

(農林水産業)

- ・農地の法整備、農業振興地域の見直しをしてほしい。
- ・農地の耕作放棄に対して、集団管理等の工夫が必要ではないか。

(商業)

- ・新東名とのアクセスを良くして若者が住みやすいようにし、商業地を増やしてほしい。
- ・市の中心の空き店舗を利用して、市街地の農家と中心地の店舗の連携を図ってほしい。

(観光)

- ・観光大手のホテルの誘致をしてほしい。
- ・名産品の立上げ、土産店の充実(増やす)を図ってほしい。
- ・団体食事処の設置、観光バスの呼び込みをPR、バス観光客の滞留時間を長くする工夫をして観光のまちづくりを進めてほしい。

- ・自然の豊かさを売りにしてほしい。
- ・ゆるキャンの活用(沼津のように回遊できるように)。
- ・構成遺産を生かした集客手法と環境づくりで、地域全体の活性化を目指してほしい。

(労働・雇用)

- ・未来型の企業誘致、IT 及び複合型企業の誘致をしてほしい。
- ・移住者にとって魅力が増すような企業誘致を。

【基本目標3 みんなの幸せと潤いを創出するまちづくり (健康福祉)】

(子育て)

- ・杉田の子安神社を活用してほしい。

(健康づくり)

- ・健康増進のための知識の普及を進めてほしい。

(地域福祉)

- ・男女関係なく参加できる寄合処の工夫をしてほしい。
- ・市と地域で福祉関係の人を増やして、福祉の充実を図ることでひとり暮らし等が緩和されると思う。

【基本目標4 郷土に学び郷土を愛する心豊かな人を育むまちづくり (教育文化)】

(義務教育)

- ・学校教育の中で、国語を中心にもっと読解力を付ける教育をしてほしい。
- ・学校教育の中で、選挙の大切さを教える教育をしてほしい。

(生涯学習)

- ・アマチュアの音楽活動等を助成していつてはどうか。

(文化・芸術)

- ・国際文化都市のイメージが不明確、具体的にすべきではないか。
- ・文化活動を活発にしてほしい。

【基本目標5 富士山の魅力を発揮した快適なまちづくり (都市整備)】

(市街地整備)

- ・ウォーキングに出かけたくなるような散歩道を整備してほしい。

(幹線道路・交通網)

- ・道路の整備、交通量重視から命を繋ぐ道路整備に変更してほしい。

(生活道路)

- ・道路がすれ違いできないほど狭いので、整備してほしい (右折ラインが不鮮明)。
- ・新しい交通体系(都市間交通)を進めてほしい。

(公園・緑地・水辺)

- ・浅間大社の湧水で噴水広場を作ったらどうか。
- ・子どもたちが安心して遊べる場所を増やしてほしい。

【基本目標6 豊かなコミュニティを持つ安全・安心なまちづくり（市民生活）】

（防災）

- ・防犯カメラ等の設置を進めてほしい。
- ・災害に強いまちづくりを望む(道路・河川、豪雨、地震、土石流対策)。

（交通安全）

- ・毎朝、児童の見守りで旗振りしている交通安全ボランティアなどに補助金を出してほしい。

（公共交通）

- ・高齢者の運転免許証の自主返納を増やす。
- ・公共交通の利便性を向上してほしい。

（住宅・住環境）

- ・災害時、自宅で住めるように、インフラ整備を強化してほしい。
- ・空き地、空き家への助成、住宅改修などにも助成があると良い。
- ・防犯カメラを各所に設置しやすくしてほしい。
- ・栗倉団地を今後どうするのか、市の方向性を知りたい。

（コミュニティ活動）

- ・区内に環境ボランティア部をつくり、補助金を出してほしい。
- ・委員(行政・交通)について、必要性、代替方法を再検討してほしい。
- ・役員手当を充実してほしい（今後は、ボランティアに期待できないのではないか）。
- ・高齢化が進む中、特に役員の確保に関して検討してほしい。
- ・大岩、杉田地区(不動等、子安神社)を利用したイベントを開催してほしい。
- ・住民同志の交流を企画(若い世代との交流)してほしい。
- ・独居支援で、向こう三軒両隣で声掛けを行う仕組みをつくってはどうか。
- ・自治会組織の抜本的な見直しをしてほしい。
- ・行政区、杉田の場合、杉田6区の件を元に戻したい。

【基本目標7 市民と一緒に取り組むまちづくり（市民参加・行財政）】

（地方創生）

- ・都会から移住したい人の生活環境の整った土地への誘致（移住対策）。

（行政運営）

- ・計画の進捗状況及び具体的な目標や数値基準などの公表をしてほしい。

（財政運営）

- ・郊外に住む人の減税をしてはどうか(高齢者、年金者)。

（広域行政）

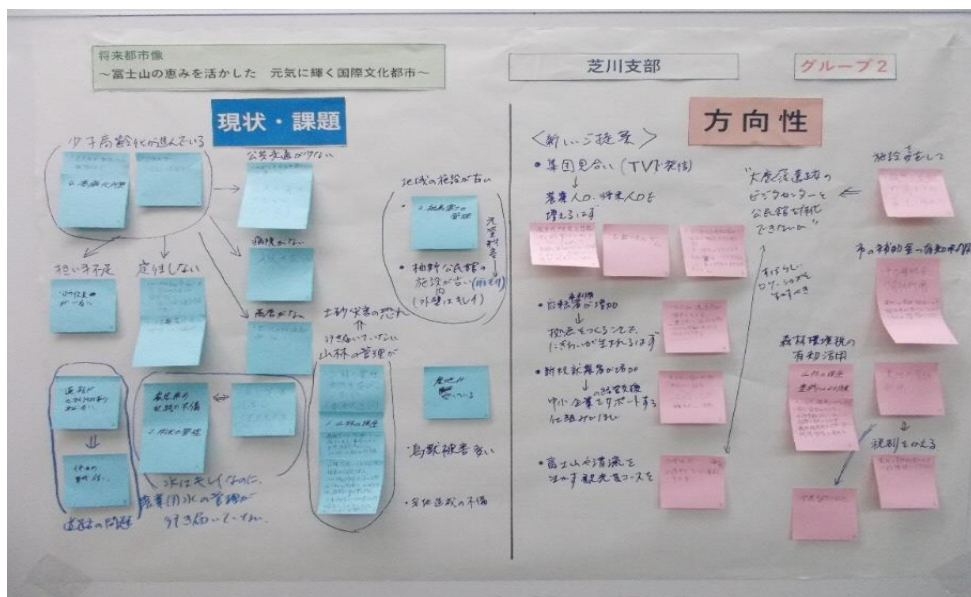
- ・区、市、県での連携を望む。

【その他】

（土地利用）

- ・杉田の市街化調整地を見直し、宅地化を進めてほしい。
- ・新東名が近いので、商業等の見直しをしてもらいたい。

- ・リクレーション系の土地、山の利用(若い人の利用)をしてほしい。
- ・市街化調整区域が見直されれば自然と活性化していくと思う。
- ・コンパクトシティの実現、集落を核として実施してほしい。
- ・短期で都市計画法の見直しをしてほしい。



【芝川支部】

現状及び課題

【基本目標1 富士山の自然と調和した循環力があるまちづくり（環境）】

（自然環境）

- ・富士川の自然が損なわれている。汚れや水量の減少が進んでいる。
- ・河川整備は進んでいるが、魚がいなくなってしまった（魚道がない）。

（水利用）

- ・山林の保全がされていない。

（上下水道）

- ・合併浄化槽への転換が進んでいない。
- ・公共下水道が整備されていない。

【基本目標2 富士山の麓から創造力と活力がみなぎるまちづくり（産業）】

（農林水産業）

- ・農業が小規模では採算が合わない。若い人がやりたくなるようにしないとダメ。
- ・鳥獣被害が多い（サル・シカ等）。
- ・農地が空いている。
- ・農業用水の管理が行き届いていない。
- ・労働力不足で山林や畑に手がつかない。

（商業）

- ・買物のできる商店が少ない。
- ・高齢化と核家族化が進み、交通の便も悪く、買物に苦慮している人が多い。

（観光）

- ・LED照明が空を明るくし過ぎたため、星が見えにくい。

【基本目標3 みんなの幸せと潤いを創出するまちづくり（健康福祉）】

（医療）

- ・病院がない。病院が遠い。

【基本目標5 富士山の魅力を発揮した快適なまちづくり（都市整備）】

（生活道路）

- ・道路が狭い所があり危ない。

（景観）

- ・太陽光発電の設置があまりにも“ずさん”であり、設置管理が行き届いていない。

（治山・治水）

- ・山林伐採による土石流被害が心配される。

- ・山林の管理が行き届いていない（木が大きくなっている）。

【基本目標6 豊かなコミュニティを持つ安全・安心なまちづくり（市民生活）】

（防災）

- ・山が荒れている（手が入っていない）ため災害が心配。

（防犯）

- ・防犯カメラの補助を出してほしい。

（住宅・住環境）

- ・空き地、空き家が増えている。

（コミュニティ活動）

- ・区の役員のなり手がいない。
- ・市から役員への依頼が多い。
- ・コミュニティが希薄化（三密防止で交流が減少、常会などの開催なし）し、地区の交流が減少し地域力が落ちる。

【基本目標7 市民と一緒に取り組むまちづくり（市民参加・行財政）】

（地方創生）

- ・20～30年前に開発された住宅地の住人が定住しない（特に子ども）。
- ・旧集落の住人の中でも人口が減少している。
- ・高齢者（世帯）が多くなっている。
- ・人口減少で生活不安の人が増えている。

（行政運営）

- ・袖野公民館の施設内が古い（元資料室の雨漏り）。

【その他】

（土地利用）

- ・自然環境が良く転入希望もあると思われるが、土地利用上の制約が多い。
- ・市街化調整区域は建物の建設が難しい。

今後の方向性（市政において、特に力を入れてほしいことなど）

【基本目標1 富士山の自然と調和した循環力があるまちづくり（環境）】

（自然環境）

- ・山林の手入れに補助金を出してほしい。
- ・河川（水質）調査等の充実を図る（魚が住める川へ）。

（水利用）

- ・河川（水質）調査等の充実を図る必要がある（魚が住める川へ）。

- ・住民に自然についてもっと知ってもらふ必要がある（魚道の整備など）。
- ・河川を保全するために森林開発に厳しい制限をする必要がある。

【基本目標 2 富士山の麓から創造力と活力がみなぎるまちづくり（産業）】

（食）

- ・農産物を有効利用し、6次産業化、中小企業の活用を推進する必要がある。

（農林水産業）

- ・農業後継者を育成する施策はどのようにしているのか。意欲的に農業に従事するよう進めてほしい。
- ・新規就農者が増加し、中小企業の経営支援をサポートする仕組みがほしい。
- ・農地の獣害被害について補助金を増額してほしい（すぐに終了してしまう）。
- ・営農組合の設立が必要。

（工業）

- ・企業誘致を急いでほしい。
- ・西の玄関口としての中中部横断道の活用を進めてほしい。

（観光振興）

- ・富士山五合目は、山梨県と比較すると富士宮市側は劣るため、競って負けない様に開発してほしい。
- ・富士山や清流を生かす観光コースをつくってほしい。

【基本目標 3 みんなの幸せと潤いを創出するまちづくり（健康福祉）】

（高齢者福祉）

- ・市営の利用しやすい福祉施設を整備してほしい。

【基本目標 4 郷土に学び郷土を愛する心豊かな人を育むまちづくり（教育文化）】

（文化芸術）

- ・大鹿窪遺跡のビジターセンターと公民館を一体化できないか。

（社会教育）

- ・柚野公民館の雨漏りを直して(防水)ほしい。

（スポーツ）

- ・高地・準高地の特徴を生かしてほしい。
- ・スポーツ施設、サイクリング用コース(富士山)をつくってほしい。
- ・自転車利用者が増加している。拠点を作ることで賑わいが生まれるはず。

【基本目標 5 富士山の魅力を発揮した快適なまちづくり（都市整備）】

（景観）

- ・潤井川・芝川の清流を生かしてはどうか。

（治山・治水）

- ・人と自然環境に優しいまち、安全・安心のまちづくり、土砂災害を防ぐには伐採を自由に

させず、森林環境譲与税を上手に使い、間伐・皆伐を進めてはどうか。

【基本目標6 豊かなコミュニティを持つ安全・安心なまちづくり（市民生活）】

（公共交通）

- ・交通の整備(JRの本数を増やす)。
- ・バスの運行(もっと近くまで来てほしい)。

（住宅・住環境）

- ・居住者を増やすため市営住宅等を造ったらどうか。
- ・住環境を整えて人口流出をくい止め(安心・安全)、住み続けられるまちにしてほしい。
- ・空き家を把握するべき。

（コミュニティ活動）

- ・小さなイベント(町会単位)に市は支援し、地区コミュニティの活性化に。
- ・少子高齢化で配布物に苦勞している。市の配布物の減少ができないか。

【基本目標7 市民と一緒に取り組むまちづくり（市民参加・行財政）】

（地方創生）

- ・働き場所の確保が必要。
- ・集団見合い(TVで発信)で、農業人口、将来人口も増えるはず。
- ・高齢者をまちなかに移住できるようにする。若い運転できる人は郊外に住みやすい住宅を斡旋し、農山村部の活性化を図ってはどうか。

（財政運営）

- ・市の補助金を利用しやすくしてほしい。



【大宮中・大宮東支部】

現状及び課題

【基本目標1 富士山の自然と調和した循環力があるまちづくり（環境）】

（生活環境）

- ・区未加入のアパート、独身寮が最近増えてきている。
- ・ごみ出しルールを守らない人がある。区外の人のごみを出している。
- ・ごみの集積場が多すぎるため、環境美化委員になる人がいない。

【基本目標2 富士山の麓から創造力と活力がみなぎるまちづくり（産業）】

（農林水産業）

- ・山林でナラ枯れしているが、持ち主が分からない。
- ・農家が減っている。

（商業）

- ・後継者不足で商店街の店舗が減少し、商店街が寂しくなった。

（観光）

- ・海外観光客に富士宮市へ寄ってもらえる観光都市にするにはどうしたら良いか。

（労働・雇用）

- ・市内に仕事が少なく、息子も娘も県外に出ていった。

【基本目標3 みんなの幸せと潤いを創出するまちづくり（健康福祉）】

（高齢者福祉）

- ・高齢者世帯が増えている。

【基本目標4 郷土に学び郷土を愛する心豊かな人を育むまちづくり（教育文化）】

（スポーツ）

- ・サイクリングスポーツの振興。
- ・スポーツ広場の増設。

【基本目標5 富士山の魅力を発揮した快適なまちづくり（都市整備）】

（市街地整備）

- ・世界遺産センターから浅間大社まで参道整備が進んでいない。

（生活道路）

- ・主道路（浅間大社前）横断歩道点字ブロックがない。
- ・交差点の住居表示が剥がれている。
- ・道路の整備、車道は広いが、歩道が狭い又ははない。
- ・宮町交番前の交差点が渋滞している。
- ・JRの南北の交通問題が解消されていない。

- ・大型店舗に有利な交通になっている。
- ・交差点が狭い割に信号機の時間が短い（特に歩行者、宮町交差点）。
- ・歩道がデコボコしている。
- ・空き地がテルモ駐車場に整備されるが、道路道幅が狭いので危険が伴う。
- ・道路交差点にカーブミラーを設置しても、所有者が不明となり区費の負担となる。
- ・道路側溝のガタツキが多い。

（景観）

- ・空き家と荒地が目立ち、景観がよくない。

【基本目標6 豊かなコミュニティを持つ安全・安心なまちづくり（市民生活）】

（防災）

- ・災害に弱い（電気・停電）。

（防犯）

- ・宮町交番が令和4年になくなると聞いているが、その後の防犯（安心・安全に影響が出るのではない）か。

（公共交通）

- ・宮バスの増便をしてほしい。

（住宅・住環境）

- ・建物の老朽化が進んでいる。区民館だけでなく、一般家屋なども危険を感じる。
- ・近くにポストがない。
- ・古いブロック塀の撤去が進んでいない。
- ・区内に空き地が多い。
- ・空き家が放置されている（安全性、民間の家）。

（コミュニティ活動）

- ・アパートが多くなり、コミュニティが取れなくなっている。
- ・新年度、各町内三役の人選に苦慮している。
- ・今年、新公会堂が完成したが駐車場がない。
- ・高齢化で、区役員、自主防役員の選出が難しい。
- ・自治会役員のなり手がいない、若い方と年配の方の考え方の違いがある。
- ・消防団に入る若い人がいない。
- ・環境美化委員の仕事が大変。
- ・一人高齢者が増えている、自治会活動に支障がある。
- ・自治会加入の減少（親の死亡時）。

（国際交流）

- ・日中国際交流の場を区内につくっている。

【基本目標7 市民と一緒に取り組むまちづくり（市民参加・行財政）】

（地方創生）

- ・リモートワークが進む今、一極集中を避ける意味からも省庁を誘致できないか。
- ・未来に向かって行政は何を考えているのか。

今後の方向性（市政において、特に力を入れてほしいことなど）

【基本目標 1 富士山の自然と調和した循環力があるまちづくり（環境）】

（生活環境）

- ・全市民にごみ出しルール of 徹底PRを図る必要がある。
- ・側溝に大きなごみが溜まりやすい場所があるので何とか対処してほしい。

（自然環境）

- ・水を生かしたまちづくりを進めてほしい。

【基本目標 2 富士山の麓から創造力と活力がみなぎるまちづくり（産業）】

（食）

- ・マス食の文化を広めてほしい。

（商業）

- ・移動販売の誘致、促進を市から願う。

（観光）

- ・観光都市をPRしていくにはプロの人に入ってもらってはどうか。
- ・浅間大社に資料館などの観光施設があれば(観光客の見る場所として)よい。
- ・観光施設、ホテル等の誘致を進めてほしい。
- ・祭台車を常時展示する建物（大宮中9台・大宮東4台）をつくってはどうか。
- ・商店街を浅間大社の参道化してはどうか。
- ・富士宮駅から浅間大社への通路の整備を進めてほしい。
- ・電線の地中化を進めてほしい。
- ・地元学生（高校生など）の空き店舗利用を支援してほしい。
- ・コンサート、催し物ができる場所があればよい。

（労働・雇用）

- ・若い人たちが住み続けるためには、仕事が必要、仕事先の創出、企業誘致。

【基本目標 3 みんなの幸せと潤いを創出するまちづくり（健康福祉）】

（医療）

- ・病院での待ち時間が長い。
- ・安心・安全のため、医療施設の整備を進めてほしい。

（高齢者福祉）

- ・高齢化に伴う生活弱者への支援の充実。
- ・高齢社会の充実(安心、安全)。

【基本目標 4 郷土に学び郷土を愛する心豊かな人を育むまちづくり（教育文化）】

（生涯学習）

- ・国際文化都市と言うのであれば大学の誘致は無理だろうか(学園関係、教育関係)。

（文化・芸術）

- ・「国際都市」というのなら、日本文化、芸術の育成と発展が必要。
- ・市内に500人規模のホールを整備してはどうか。
- ・小中学生の日本文化芸術の育成。

【基本目標5 富士山の魅力を発揮した快適なまちづくり（都市整備）】

（幹線道路・交通網）

- ・南部地区から富士へ行く道路の拡幅か道路の新規整備。
- ・沼久保から富士川を通り（東側側面）、富士市への道路の整備。
- ・市街地へ進入する大型トラックの規制はできないか。

（生活道路）

- ・道路の維持、管理に、市として日頃から注視する必要がある。

【基本目標6 豊かなコミュニティを持つ安全・安心なまちづくり（市民生活）】

（防災）

- ・防災に強いまちづくりを目指すため、テントや物資なども補充してはどうか。

（交通安全）

- ・毎朝、児童の見守りで旗振りしている交通安全ボランティアなどに補助金を出してほしい。

（住宅・住環境）

- ・空き地を区で購入し、地域にアパートを含むごみ集積場をまとめて数箇所にしたら衛生的になる。
- ・高齢者が施設入所後に空き家になるケースの対策を進めてほしい（民生委員も困る）。
- ・安全性の面から通学路に面する空き家（民間の家）の撤去を進めてほしい。

（コミュニティ活動）

- ・役員の仕事量の検討（少なくする）、環境美化の仕事を減らしてほしい。
- ・環境美化委員を増やす対策を取ってほしい（ルール変えるなど）。

【基本目標7 市民と一緒に取り組むまちづくり（市民参加・行財政）】

（地方創生）

- ・少子化対策を進めてほしい。
- ・リモートワークが進む今、一極集中を避ける意味からも省庁を誘致できないか。

（男女共同参画）

- ・女性の意見を反映できる場を多く設けてはどうか。

3 資料編

資料1 第5次富士宮市総合計画の概要

第5次富士宮市総合計画の概要

～ 富士山の恵みを活かした元気に輝く国際文化都市 ～

資料1



富士宮市 企画戦略課

1

1 計画策定の目的

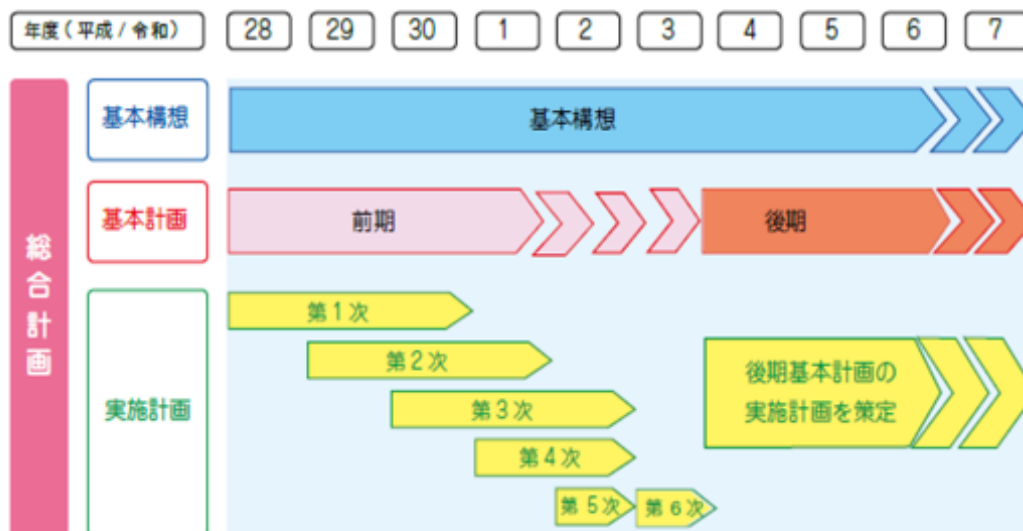
総合計画とは、今後10年間の目指すべき将来都市像を掲げ、その実現に向けて方向性を示した本市の最上位計画です。

本市が発展していくためには、健全な財政のもとで市民・企業・行政が一体となって活力あるまちづくりを推進し、安全で安心できる生活環境の形成や世界遺産「富士山」のまちとしての優位性を生かし、個性あふれる都市となることが求められています。

■これまでの総合計画

計 画	計画期間	基本目標・将来都市像
富士宮市総合開発計画	昭和49年～昭和60年	人間尊重を基本とした平和にして 住みよい富士宮市の建設
富士宮市総合発展計画	昭和61年～平成7年	富士山と共に歩む 水と緑の国際文化都市
第三次富士宮市総合計画	平成8年～平成17年	富士山の自然を守り 安らぎと活力にみちた国際文化都市
第4次富士宮市総合計画	平成18年～平成27年	富士山の自然に抱かれた やさしく元気なまち

2 計画の期間



3

3 将来都市像

富士山の麓にあるまち富士宮で、生まれ、育ち、生活している私たちにとって、富士山はそこに悠然とあるもの、なくてはならない大事な世界の宝です。

この富士山の麓で、私たちが希望ある夢を描ける富士宮の未来を共に創り上げるため、本市が目指す将来都市像を次のとおり定め、その実現に向けて着実なまちづくりを進めています。

富士山の恵みを活かした
元気に輝く国際文化都市



4

4 将来都市像を実現するための3つの重点取組

将来都市像にふさわしい魅力あふれるまちづくりを進めるため、本市が総力を挙げて取り組む必要があるテーマを3つの重点取組として定め、この取組に沿って事業を進めています。

取組 1	恵み豊かな未来づくり 1-1 世界遺産のまちづくりプロジェクト 1-2 世界に飛躍する国際文化都市プロジェクト 1-3 富士山後継承プロジェクト
取組 2	いきいき元気な未来づくり 2-1 元気はつらつ健康長寿プロジェクト 2-2 防災・減災と公共施設の長寿命化等推進プロジェクト 2-3 地域コミュニティ充実プロジェクト
取組 3	誰もが輝く未来づくり 3-1 結婚・出産・子育ての希望実現プロジェクト 3-2 女性が輝く、さくや姫プロジェクト 3-3 ここで働き、ここに住むプロジェクト

5

取組 1 恵み豊かな未来づくり

～世界遺産富士山の恵みを保全し、活用する～

重点プロジェクト 1-1 世界遺産のまちづくりプロジェクト

世界遺産のまちにふさわしい、中心市街地や各種観光施設などの整備を進めます。

主要取組	概要
■ 富士山世界遺産センター（仮称）から富士山本宮浅間大社までの参道幹線出新事業	門前町としての賑を生かした、にぎわいのある参道軸を創出します。
■ 花と食の元気広場等再整備事業	花と食の元気広場については、積極的な民間活力の導入を図り、来訪者がくつろげるにぎわい空間を整備します。 また、広場西側の歩道を整備し、来訪者の安全を確保します。
■ 県道富士宮富士公園線歩道整備事業	
■ 富士山世界文化遺産富士宮市行動計画推進員活動事業	行動計画推進員として登録された個人や事業者、団体等による富士山グッズの開発や広報活動を行います。

主要取組	概要
■ 世界遺産構成資産環境整備事業（白糸の滝・史跡富士山）	構成資産である白糸の滝、村山浅間神社、山宮浅間神社及び人穴富士講遺跡の整備を図ります。
■ 史跡大森窪遺跡整備事業	国指定史跡である大森窪遺跡を史跡公園として整備を図ります。
■ 商店街活性化事業・空店舗等対策事業	商店街イベントに対する助成などや、国内外から訪れる観光客にも対応した土産物販売店等の出店・創業を支援します。

6

重点プロジェクト 1-2 世界に飛躍する国際文化都市プロジェクト

世界に飛躍する国際文化都市を目指し、国内外からの誘客を進めるとともに、おもてなしの対応と広域的な取組を進めます。

主要取組	概要
外国人誘客事業	誘外国に対する誘客活動を実施するとともに、旅行客を滞留させるため、公衆無線LAN [®] 整備等を進めます。
ホテル誘致事業・既存宿泊施設改修事業	国内外からの観光客を取り込み、滞在型観光を推進するため、ホテルの誘致及び既存宿泊施設の改修支援を行います。また、国際化の進展に伴い、国際観光ホテル [®] の登録を推進します。
スポーツ大会誘致事業	国際大会、全国大会などの誘致を図るとともに、スポーツ合宿などにより地域の活性化を図ります。
スポーツ観光レクリエーション事業	
国際交流事業	地域の活性化につながる新たな文化交流や経済交流を推進します。
英会話教育の充実	子どもが使える外国語ハンドブックを作成します。また、小学校教員を対象とした英会話教室を実施します。

重点プロジェクト 1-3 富士山後継継承プロジェクト

富士山をはじめとする、このまちが誇る豊かな自然や景観を守り、しっかり後世へ引き継ぎます。

主要取組	概要
世界遺産推進事業	富士山世界文化遺産富士宮市行動計画に基づき、景観の醸成を図るとともに、情報発信に努めます。
広葉樹育苗・植樹事業	うるおいの森植樹祭などで、自生種の植樹を推進します。
富士山一斉清掃	企業、民間団体、行政等が連携して富士山の一斉清掃を実施します。
景観形成推進事業	富士山の景観形成を図ります。(富士山本宮浅間大社周辺地区においては、景観計画重点地区 [®] 及び岳南広域都市計画高度地区 [®] を設定します。)
有様の人づくり推進事業	道徳資料「富士山をこころに」を題材とした児童・生徒の作品集を発行します。
富士山学習の推進	富士山のあるまちに対する郷土愛、感動する心、誇りや自信などのかん養を図ります。
景観と再生可能エネルギーの調和	富士山等の景観に配慮し、再生可能エネルギーの推進との調和を図ります。

7

取組2 いきいき元気な未来づくり

～安全・安心なまちで、健康を育み元気に暮らす～

重点プロジェクト 2-1 元気はつらつ健康長寿プロジェクト

いつまでも健康でいられるための健康増進や疾病・介護予防の取組を進めるとともに、市立病院をはじめとする地域医療との連携強化を図ります。

主要取組	概要
健康増進事業	妊娠・出産・乳幼児期から高齢期に至る各世代に応じた健康づくりや疾病予防などの保健事業に取り組みます。
市立病院の医師や看護師の確保	市立病院において、より質の高い医療サービスを提供するために医師や看護師など医療スタッフの確保に努めます。
地域医療体制の確保	医療機関及び関係団体等との連携を強化し、地域医療体制の確保に努めます。
生涯スポーツの充実	公民館などを活用した中・高齢者向けのスポーツ教室の充実を図ります。

8

重点プロジェクト 2-2 防災・減災と公共施設の長寿命化等推進プロジェクト

多様な災害に対する備えと、施設の安全性の確保、機能維持、財政負担の軽減等の観点から施設の長寿命化・耐震化を進めます。

主要取組	概要
■ 地域防災計画の見直し	地震、風水害、富士山噴火など様々な災害に対応した地域防災計画を見直します。
■ 防災意識の高揚	防災研修会や出前講座などにより、市民及び市職員の意識の高揚を図ります。
■ 自主防災組織の強化	各種防災訓練を実施するとともに、防災倉庫等の整備を図ります。
■ 小・中学校施設耐震補強事業	耐震性をより高めるための小・中学校校舎等の耐震化を図ります。
■ 公共施設長寿命化事業	公共建築物をはじめとする公共施設の維持補修を、効果的かつ効率的に実施します。
■ 公共施設等総合管理事業	財政負担の軽減・平準化を目的に、公共施設等の更新・長寿命化・統合などを計画的に実施します。

重点プロジェクト 2-3 地域コミュニティ充実プロジェクト

すべての地域におけるコミュニティの充実を図ります。

主要取組	概要
■ 地域コミュニティ施設整備推進事業	コミュニティ活動の拠点となる区民館等の建設や土地取得を支援します。
■ 集落における拠点機能の強化	市街地周辺部における中心集落の拠点機能の整備・改修を行うなど、拠点機能を高めるとともに、集落環境の整備を図ります。
■ 自治会への加入促進	集合住宅着工時に業主に対する自治会への加入促進を図るとともに、区長会との協力による未加入者への呼び掛けと普及を図ります。
■ 地域支援サービス ■ 出張商店街プロジェクト事業	商店街の商品を出張販売することなどを通じて、地域間の交流を図り、住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援します。
■ 中山間地域魅力アップ創出事業	中山間地域である稲子地区の集客施設の改修に合わせた地域全体の魅力アップによる交流創出や移住・定住を促進します。

取組 3 誰もが輝く未来づくり

一人とまちが輝き、人口減少社会に打ち克つ

重点プロジェクト 3-1 結婚・出産・子育ての希望実現プロジェクト

結婚・出産・子育ての希望を実現させるとともに、子育てしやすい社会環境の整備を図ります。

主要取組	概要
■ 不妊・不育症治療費助成事業	不妊や不育症治療に対する医療費の助成を行います。
■ 子ども医療費助成事業	子育て世代に対し、医療費を軽減するための支援を行います。
■ 母力応援プログラム事業	妊娠前から子育て期にわたる継続したサポート体制の充実を図るとともに、子育て中の女性の社会参加を促進します。
■ コンビニ系の子育て支援事業	地域のコンビニエンスストア等において、子育て世代が利用しやすいよう、店舗改装や商品開発の提案を市民協働で行います。
■ 出会い・交流応援事業	若い世代の男女の出会いや交流の場の創出に対する支援を行います。
■ 子育て応援事業	男性の育休取得や子育て意識の向上を図ります。また、社会全体が仕事と家庭の両立に向けて取り組めるよう、環境を整えます。

重点プロジェクト 3-2

女性が輝く、さくや炬プロジェクト

女性が持つ力を最大限発揮できる環境を作ります。

主要取組	概要
■ 母力応援プログラム事業（再掲）	妊娠前から子育て期にわたる継続したサポート体制の充実を図るとともに、子育て中の女性の社会参加を促進します。
■ コンビニ発の子育て支援事業（再掲）	地域のコンビニエンスストア等において、子育て世代が利用しやすいような提案を市民協働で行います。
■ 女性応援会議の設置	女性が輝く社会の実現に向けて、市民、関係団体等による会議を開催し、女性に係る施策の検証等を行います。
■ 女性の要用の促進	社会のあらゆる分野における指導的地位を占める女性の割合を増やします。

重点プロジェクト 3-3

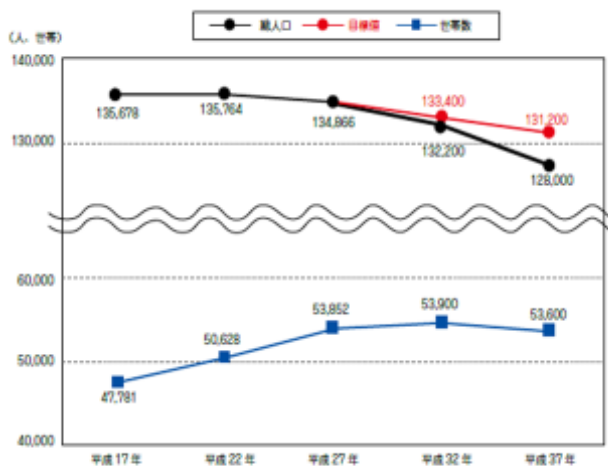
ここで働き、ここに住むプロジェクト

富士山の恵みを生かした産業の振興とこのまちで生き生きと働くことのできる場所の創出を図り、このまちを選び住んでもらうことを目指します。

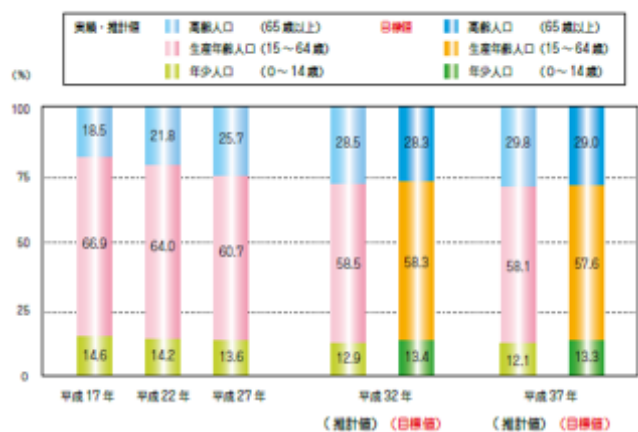
主要取組	概要
■ 企業立地推進事業	優良・成長産業の誘致や市内既存企業の留置を図ります。
■ 第6次産業化推進事業	新規就農者の確保や若者にとって魅力ある農業を確立するため第6次産業化を推進します。また、農商工連携により、地産地消や特産品の開発を推進します。
■ 創業支援事業	創業支援事業計画に基づき、起業のためのワンストップ相談窓口 [※] を設置し、マッチング支援などを行います。

5 将来人口

総人口及び世帯数



年齢別人口構成



第5次富士宮市総合計画後期基本計画策定市民アンケート調査

アンケート概要

期間：令和元年9月27日（金）～10月15日（火）
対象：市内在住の18歳以上80歳未満の男女
配布数：3,000件
回収数：1,666件（郵送回答1,453件、WEB回答213件）
回収率：55.5%

本市の現状

◇市民として誇れるもの 将来まで残したいものは？

- 美しい山、川などの自然資源（富士山、白糸の滝、神田川など）
- 名勝、史跡などの歴史的資源（富士山本宮浅間大社など）
- やきそばなどの食によるまちづくりの活動

◇お住いの地域における満足度は？

- 公共交通機関の便利さに不満が多い
- 商店での買物の便利さに不満が多い
- 日当たり、風通しの良い居住性、緑や自然豊かな居住環境に満足度が高い

◇本市の土地利用の現状は？

- 市街地の中心部に空き地が多く、活用されていない
- 農地は耕作放棄地などが目立ち、管理されていない
- 山林の管理が行き届いていない

本市の課題

◇循環型社会

- 不法投棄等の未然防止、早期発見
- 太陽光発電、小水力発電など、自然エネルギーの導入

◇商業・産業振興

- 商店街までの交通の便の整備、駐車場・駐輪場の設置
- 観光施設のPR
- 工業団地の造成、新たな企業誘致

本市の課題

◇福祉関係

- 子どもを安心して産み育てることができる環境の整備
- 高齢者・障がい者（児）の社会福祉施設の整備

◇土地利用

- 中心市街地の空地等の有効利用をすべき
- 観光やレクリエーション系の土地利用を拡大すべき
- 山林や里山を保全すべき

今後の方向性

◇将来どのようなまちになったら良いと思うか？

- 人と自然環境にやさしいまち
- 自然や歴史を生かした観光のまち
- 福祉の充実したまち

◇市政において、特に力を入れて欲しいことは？

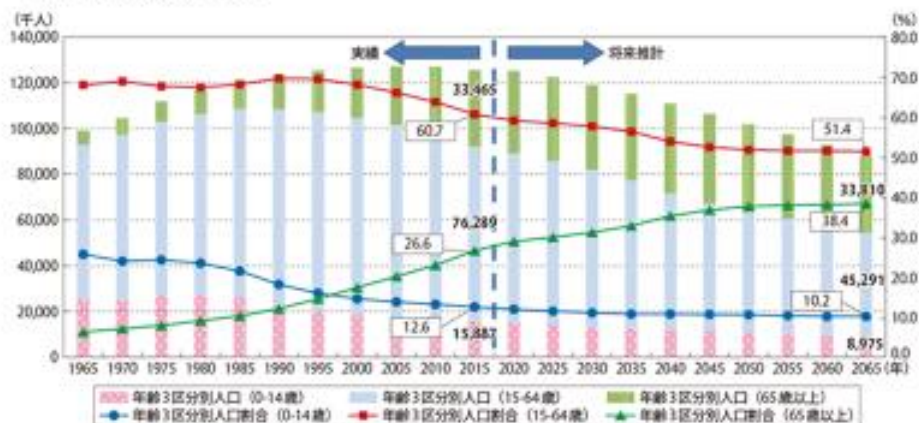
- 高齢社会への対策
- 朝霧高原や浅間大社、白糸の滝を生かした観光振興
- 道路の整備充実
- 保健・医療施設及び体制の整備充実

1. 人口に関する社会動向(全国)

◀少子化を取り巻く状況▶

- 少子高齢化の進行により、我が国の総人口は2008年をピークに減少に転じており、生産年齢人口（15～64歳）も1995年をピークに減少に転じている。
- 国立社会保障・人口問題研究所の将来推計（出生中位（死亡中位）推計）によると、2065年には総人口は約8,808万人にまで、生産年齢人口は約4,529万人にまで減少すると見込まれている。

■年齢3区分別人口の推移



(注) 1970年以前は沖縄県を含まない。

(資料) 2010年までは総務省統計局「国勢調査報告」、2015年は総務省統計局「平成27年国勢調査人口等基本集計」、推計値は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」（平成29年推計）の出生中位（死亡中位）推計より国土交通省作成

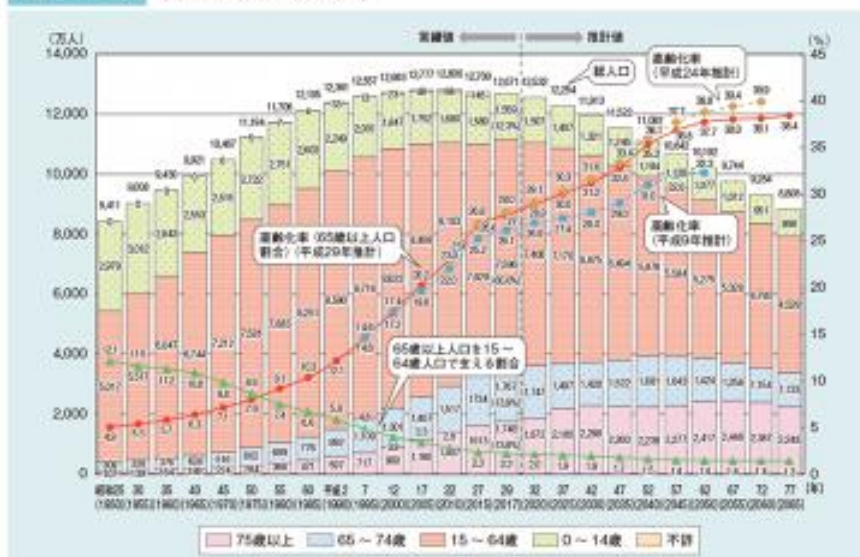
2

2. 人口に関する社会動向(全国)

◀高齢化を取り巻く状況▶（参考：内閣府「平成30年度版高齢社会白書」）

- 65歳以上人口は、「団塊の世代」が65歳以上となった平成27（2015）年に3,387万人となり、「団塊の世代」が75歳以上となる平成37（2025）年には3,677万人に達すると見込まれている。**約2.6人に1人が65歳以上、約3.9人に1人が75歳以上**

図1-1-2 高齢化の推移と将来推計



3

3. まちづくりに関する社会動向(全国)

■まち・ひと・しごと創生基本方針2020 令和2年7月17日

- 人口減少に歯止めをかけそれぞれの地域で住みよい環境を確保し、将来にわたって活力ある日本社会を維持する地方創生。まち・ひと・しごと創生法、長期ビジョン、第二期総合戦略(令和元年12月)を受けた方針。
- 新型コロナウイルス感染症により、地域の経済・生活に影響が生じ、また、デジタル化の遅れなども顕在化している。
- このため、雇用の維持と事業の継続、経済活動の回復を図るとともに、感染症克服と経済活性化の両立の視点を取り入れ、デジタル・トランスフォーメーション(DX)を推進しつつ、東京圏への一極集中、人口減少・少子高齢化という大きな課題に対し、取組を強化する。

雇用の継続と事業の継続
～暮らしを支える

地域経済・生活の再興
・雇用の維持と事業の継続
・交流、賑わいの再活性化
・感染症の克服と危機に強い地域経済の構築

経済活動の回復～
地方経済の立て直し

新たな日常に対応した地域経済の構築と東京圏への一極集中の是正
結婚・出産・子育てしやすい環境の整備

強靱な経済構造の構築
～危機に強い地域経済

地方における医療、福祉、教育など社会全体の未来技術の実装を推進することを通じて、デジタル・トランスフォーメーションを強力に支援

4

4. まちづくりに関する社会動向(全国)

「新型コロナ危機を契機としたまちづくりの方向性：論点整理」令和2年8月31日

- 令和2年6月～7月にかけて、新型コロナ危機を踏まえ、今後の都市のあり方にどう変化が起こるのか、都市政策はどうあるべきかについて様々な分野の有識者に個別ヒアリングを行った。都市機能、都市交通、オープンスペース、データ・新技術等の論点を整理した。秋以降検討会を設置、検討を深める。

新型コロナ危機を契機とした変化

- 【テレワークの進展】
- 職住近接のニーズが高まり、働く場と居住の場の融合が起こっていく可能性
- オフィス需要に変化の可能性。老朽中小ビルなどは余剰発生の可能性
- 【生活重視に意識が変化】
- 東京一極集中の是正が進みやすくなる可能性
- ゆとりあるオープンスペースへのニーズの高まり

今後の都市政策の方向性

- 人や機能等を集積させる都市そのものの重要性に変わりはなく、国際競争力強化やウォークアブルなまちづくり、コンパクトシティ、スマートシティの推進は引き続き重要
- 都市政策の推進に当たっては、新型コロナ危機を契機として生じた変化に対応していくことが必要

都市の持つ集積のメリットは活かしつつ、「三つの密」の回避、感染拡大防止と経済社会活動の両立を図る新しいまちづくりが必要

5